

愛知の人

庄内川や矢田川で遊んでいる人を見たことがあるかい？ 河川敷で野球やゴルフをする人はいても、水際まで行ったり泳いだりする人はほとんどいない。危ないからじゃない、汚いからだよ。

汚れた川 きれいになりたい



矢田川と庄内川への思いを語る宮田照由さん＝名古屋市守山区で

いだったんだ。僕なんか排水が流れてきて、川がまう」と危機感を抱いた。釣り仲間らとともに「矢田・庄内川をきれいにする会」を発足させた。 (昭和二十八)年に庄内川流域で製紙会社が操業した。

中学生のころから生活を始めてから、さらに汚排水が流され、水が汚れて魚も釣れなくなつた。合成洗剤は自然た。高校中退後、家業の界では分解されにくい建設業を手伝っていたとらね。上流の瀬戸市や岐き、「このままでは生きない魚釣り大会」を始めた。大会はその後「食べられるかもしれない魚釣り大会」など名前を変え、今も続いているよ。

子どものころのきれいな川がこんなに汚くなつたことがショックなんだ。昔のような川に戻りたい。きれいになれば魚も増えるし、人が戻ってくる。

川は水の楽しさと怖さ、そこに暮らす生き物や生態系など、いろんなことを教えてくれる。流せるなくすべきなんです。域住民の財産さ。「汚しランクの引き上げ。それ

が私の悲願です。原則だと思つ。高度経済

矢田・庄内川をきれいにする会 1974 (昭和49)年発足。庄内川水系にアユを呼び戻すために「庄内川水系にアユ遡上(そじょう)100万匹大作戦」を実施。水質改善や遡上調査、清掃活動などに取り組んでいる。子どもたちが川に親しめるようなイベントも企画している。会員は流域住民を中心に130人。

成長でわれわれの時代に汚したんだから、きれいにして子どもたちの世代に引き継ぎたい。

庄内川と矢田川は、県が定める環境基準の水域類型(A-A-E)に当てはめると、六段階のうちの上から五番目のDランク。水質を改善して、もう一つも二つも上の類型に入り、これ以上川を汚せなくすべきなんです。

(戸川祐馬)

Love

矢田川・庄内川

宮田

照由さん

67

◆名古屋市